

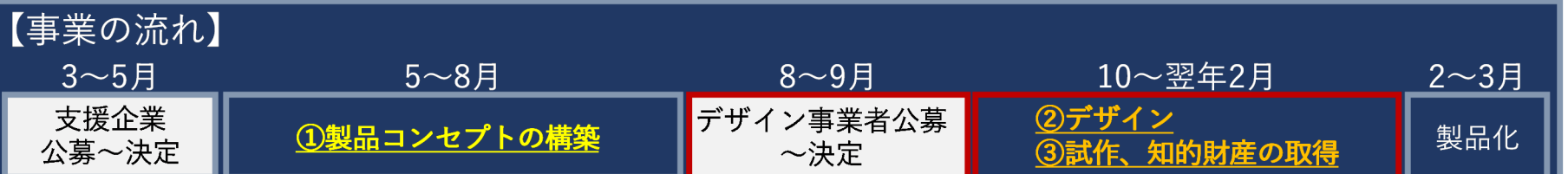
# 家具ブランド力の向上を目指して ～製品企画力高度化支援事業 -NIKAWA-の成果事例紹介～

インテリア研究所 技術開発課

## 目的

- 本事業では、県内の家具製造業者に対し、企業とインテリア研究所、外部有識者らが一体となって、製品企画からデザイン、試作評価までの一貫した支援を行い、企業の新たな基幹製品の開発を行います。
- 支援による基幹製品の創出や製品企画力向上を通じて、競争力のある企業を創出し、県内家具製造業のブランド力向上を図ります。

## 概要



### 【事業概要】

#### ①製品コンセプトの構築

コア製品となる製品仕様を各有識者の支援によって家具メーカーが固めます。

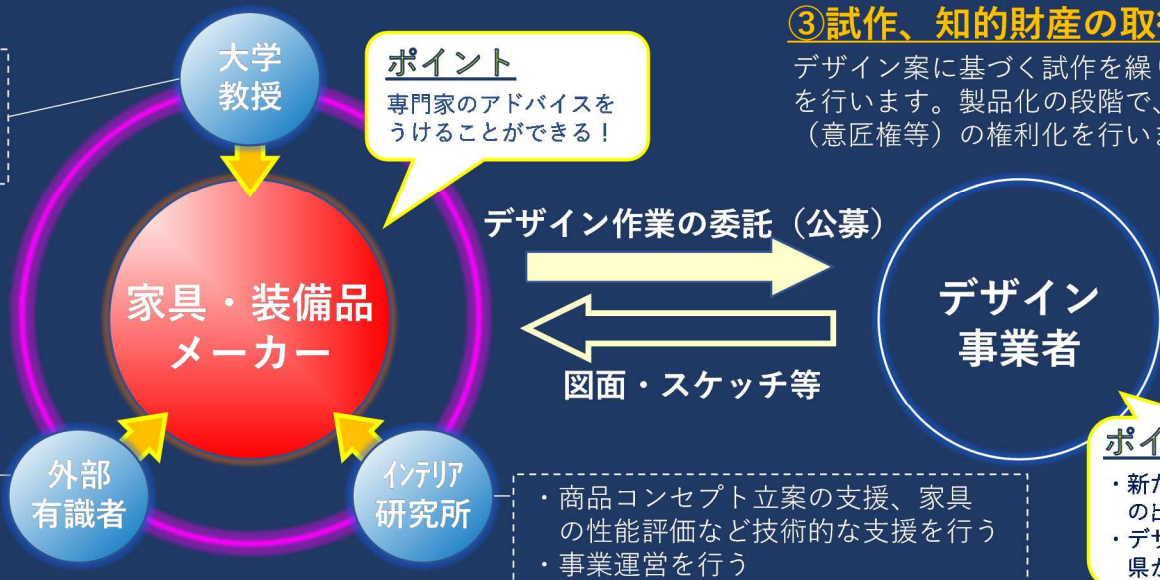
○青木幹太教授 (九州産業大学)

- ・統括ディレクターとして、事業全体の進行を統括する

#### ポイント

専門家への費用は県が負担！

- 商品企画、販路開拓等の各分野の専門家
- ・商品コンセプト立案の支援や、販路開拓に資する情報の提供などを行う



#### ②デザイン

製品の仕様を基に公募により採択を受けたデザイン事業者が製品のデザインを行います。

#### ③試作、知的財産の取得

デザイン案に基づく試作を繰り返し、製品化を行います。製品化の段階で、知的財産権(意匠権等)の権利化を行います。

#### ポイント

- ・新たなデザイナーとの出会いが生まれる！
- ・デザイナーへの費用は県が負担！

## 成果

- 平成30年度より毎年3社参加し、これまで計12社の製品開発を支援。
- ダイニングセットやシステムキッチン等の製品を開発し市販化。



#### 【実績】

■売上状況：良好

#### ■事業実施による波及効果

- ・o-Neがきっかけとなり、新たな販路の開拓ができた
- ・本事業で契約したデザイン事業者(2020.7@大川)と、別の新たな製品開発を行う事になった

#### ■今後の見通し

- ・実店舗およびインターネットにより販売中
- ・販路拡大に向けたo-Ne改良品の開発に着手



#### 【実績】

■売上状況：良好

#### ■事業実施による波及効果

- ・開発製品がきっかけとなり、他の自社製品の販売および、新たな販路の開拓につながった

#### ■今後の見通し

- ・地場のハウスメーカーや工務店、戸建て住宅やリノベーションマンションに向けて販売中



#### 【実績】

■売上状況：良好

#### ■事業実施による波及効果

- ・開発製品がきっかけとなり、他の自社製品の販売および、新たな販路の開拓につながった

#### ■今後の見通し

- ・インテリアショップ等で販売中
- ・展示会への出展等による販促活動を実施中



展示会出展 (2020.10 @大川)

### ■本事業に関すること（お問合せ先）

インテリア研究所 技術開発課 石川弘之、友延憲幸、隈本あゆみ

電話：0944-86-3259 FAX：0944-86-4744 E-mail：nikawa-info@fitc.pref.fukuoka.jp